

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭58-188867

① Int. Cl.⁸

B 65 D 81/34

8/04

77/04

識別記号

庁内整理番号

2119-3E

6614-3E

7909-3E

② 公開 昭和58年(1983)12月15日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

① スープ容器

東京都江東区大島3の2の6株
式会社吉野工業所内

② 実 願 昭57-26005

② 出 願 人 株式会社吉野工業所

③ 出 願 昭57(1982)6月8日

東京都江東区大島3丁目2番6
号

④ 考 案 者 山中伸夫

⑤ 実用新案登録請求の範囲

底壁2周縁から起立させた周壁3の上端に外向きフランジ4を付設させた複数の小容器5の、外向きフランジ相互を破断線6を介して連結させて形成させた小容器群1と、該小容器群を収納させた1箇の大容器10とからなり、上記小容器内には熱湯注入によつてスープ化できるスープ材料7を充填させると共に、各小容器の上端開口面をシール薄片8で剝離可能に閉塞させ、上記大容器から小容器群を取出した状態で、該大容器の予め定

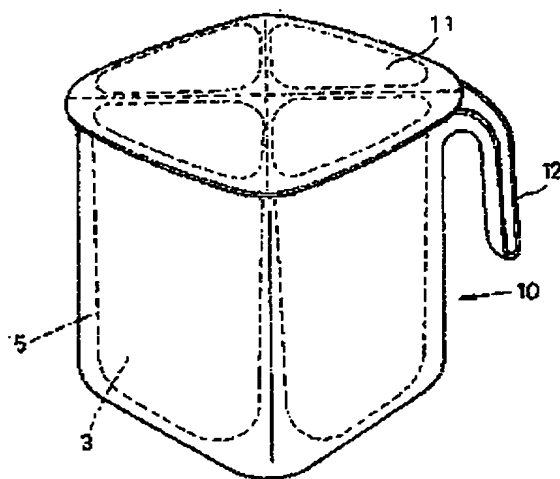
められた位置まで注入することで得られる熱湯量が、上記小容器1箇分のスープ材料を適正な味加減のスープとするに必要な熱湯量と一致するように定めたことを特徴とするスープ容器。

図面の簡単な説明

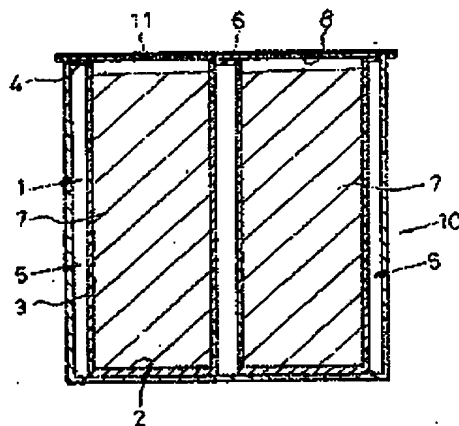
第1図は本案容器の斜視図、第2図はその縦断面図、第3図は小容器群を示すもので、シール薄片を離して小容器1箇を分離させて示す斜視図である。

1…小容器群、5…小容器、10…大容器。

第1図



第2図



第3図

